

令和2年度 海外移住と文化の交流センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	海外移住の歴史及び意義の継承、地域に在住する外国人等との交流並びに国際的な芸術の交流を通じて、多様な文化が共生するまちづくりに資することを目的として、平成21年6月に開設。以下の3つの機能を併せ持つ複合施設。 ①希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム機能) ②多文化との共生の広場(在住外国人支援機能) ③芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流機能)
(2)指定管理者	海外移住と文化の交流センター共同事業体 【代表者】株式会社カワサキライフコーポレーション 【構成員】一般財団法人日伯協会(以下、「日伯協会」) 【 " " 】特定非営利活動法人関西ブラジル人コミュニティCBK(以下、「CBK」) 【 " " 】特定非営利活動法人芸術と計画会議(以下、「CAP」)
(3)指定期間	平成29年4月1日から令和3年3月31日まで
(4)R2市支出額(単位:円)	協定締結額48,744,186円 決算額.....46,578,315円 (差額.....2,165,871円は修繕費として精算戻入)

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	2年度の状況
①施設の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全館の統括責任者1名を中心に、施設・設備管理と3つの機能(部門)をそれぞれ担当する4名の運営スタッフの合計5名が常駐し、センターの運営にあたった。</li> <li>・新型コロナウイルス拡大の影響を受け、4月・5月は臨時休館となった。</li> <li>・設備の保全や清掃業務は外部に委託し、法令点検や定期点検等を行った。</li> <li>・館内外の美観の維持に特に配慮し、館内清掃はもとより、正面広場の芝生整備、植栽など、来館者に好感を与えるための施設整備を積極的に行った。</li> <li>・昨年度に引き続き電気・ガス等の抑制に努めたが、新型コロナウイルスによる臨時閉館により電力使用量は前年比で3.1%減少したが、ガス使用量は換気強化の影響により前年比で2.2%増加した。</li> </ul>
②施設の運営業務	<p>○開館日数 254日 ○開館時間 午前9時～午後10時(移住ミュージアムは午前10時～午後5時) ※ただし、新型コロナウイルス対策として閉館時間短縮を行った。 ○令和2年度の特記事項は以下のとおり。</p> <p>■希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム)</p> <p>(1)企画展 ・アマゾンを救う日本人パワー!!アマゾンに日本人は何をもたらしたか?(8/1～11/1:1,178人) ・兵庫県・パラナ州友好提携50周年記念「「イグアスの滝」はどこにある?」(1/16～3/21:903人)</p> <p>(2)常設展 (3)移住ミュージアム企画委員会の開催</p> <p>■多文化との共生の広場(在住外国人支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日系人への生活相談</li> <li>・日系ブラジル人の子どもたちに対する日本語学習支援教室・母語教室</li> <li>・南米諸国のお祭り(フェスタ・ジュニーナ)などの集客事業 など</li> </ul> <p>■芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流)</p> <p>(1)海外からのアーティストを含む様々なアーティストと市民との交流の場として、アーティストの制作プロセスを公開する「公開アトリエ事業」を実施(アトリエ12室、フィンランド・ドイツからのアーティストが参加)</p> <p>(2)企画展覧会(18回(ただし、新型コロナウイルスの影響を受け、当初の予定より大幅に変更して開催))を実施し、国内外のアーティストの作品を展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/2～7/19 「築山有城ドローイング展「I am still awake」来場者約320人</li> <li>・11/1～11/29 「矢野衣美個展「光のみずうみ」」来場者約280人 他</li> </ul>

	③その他の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>■希望と未知への船出の広場 <ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書図書・資料リストの整備とホームページでの公開 図書 2,852冊 資料 542点</li> </ul> </li> <li>■多文化との共生の広場 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第16回 移民写真展(私の移民史) 参加者約950人 ほか</li> </ul> </li> <li>■芸術を生かした創生の広場 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アート林間学校@home2020の実施 25講座 参加者343名</li> </ul> </li> <li>■3つの「広場」の連携事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中南米音楽会の開催 3回(各回30名参加)</li> </ul> </li> </ul>
(2)利用状況		2年度の状況
	①施設利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数: 令和2年度31,410人(対前年度比△40.2%) 令和元年度52,587人(対前年度比△1.3%)</li> <li>・新型コロナウイルスによる臨時閉館や開館時間短縮の影響を受けて昨年度に比べ大幅に入館者数が減った。(4/1～5/31まで臨時休館)</li> <li>・貸館対象施設の稼働率(コマ数方式、年間平均、カッコ内は前年) [全館トータル]54.9%(54.5%) [1Fホール]54.3%(31.2%) [2F多目的室] 79.5%(98.6%) [2Fセミナールーム] 13.1%(12.3%) [3F小会議室] 48.0%(45.6%) [3F大会議室] 37.1%(30.0%) [3Fギャラリー③] 120.5%(108.5%) [4Fギャラリー①] 68.9%(72.7%) [4Fギャラリー②] 65.4%(72.7%) [5Fホール] 6.8%(19.1%)</li> </ul>
	②その他利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場利用台数 令和2年度:2,690台(約11台/日) 令和元年度 3,201台(約11台/日)</li> </ul>
(3)収支状況		2年度の状況
	①使用料または利用料金収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>[貸館事業]・活動支援室 令和2年度480,000円 令和元年度480,000円</li> <li>・会議室等 令和2年度81,600円 令和元年度379,700円</li> <li>[駐車場使用料] 令和2年度640,100円 令和元年度925,400円</li> <li>※センターへの入館及び移住ミュージアムの見学は無料</li> </ul>
	②指定管理者の収支状況	神戸市負担額 46,578,315円
(4)その他		2年度の状況
	①行動指針に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動指針に則った対応をし、多文化共生及び地域活性化の拠点になるよう各事業を実施している。</li> </ul>
	②来館者に関する特記	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内で唯一現存する移住関連施設であることから、大学の研究グループ等による来館がある。 令和2年度:24大学(うち関西圏外7、海外0)のべ53回 令和元年度:36大学(うち関西圏外10、海外3)のべ71回</li> <li>・その他、自治体関係者、高校、中学、海外からの視察 等</li> </ul>

### 3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数 51,000人</li> <li>※臨時閉館期間を考慮し、開館日数按分すると 入館者数目標値は「42,195人」となる。</li> <li>・貸館稼働率 48%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数 31,410人(未達成:達成率74.4%)</li> <li>※ただし、開館時間の短縮もあり、定量的に達成状況を判断することが困難である。</li> <li>・貸館稼働率 54.9%(達成)</li> </ul>
②収入目標額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館事業 350,000円</li> <li>・駐車場…目標設定なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館事業 81,600円</li> <li>・駐車場 640,100円</li> </ul>
③その他新たなサービス	特になし	

4. 利用者の満足度調査等

		2年度の状況
①満足度調査の実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査方法: 来館者にできる限り声をかけ用紙を交付し、記入を依頼。</li> <li>・調査期間: 常時</li> <li>・回収件数: 令和2年度291件(令和元年度925件)</li> <li>・質問項目: 来館目的、知った方法、来館回数、展示内容の評価、館内環境、スタッフの対応に対する評価、再訪の意向、同伴者の有無など</li> <li>・イベント開催時は会場で配布・回収し、回収活動ができるだけ来館者に見える形になるよう工夫。</li> <li>・4月及び5月は臨時閉館のため調査実施できず。</li> </ul>
②満足度調査の結果		<p>【施設全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館目的(重複回答あり、カッコ内は前年)              移住ミュージアム: 65(47)%、 在住外国人支援: 2(10)%、              国際芸術交流: 1(2)%、 イベント27(19)%、 貸館利用0(1)%、              その他9(17)%、 未記入2(4)%</li> <li>・知った方法              HP9(7)%、観光案内所1(1)%、イベントチラシ7(6)%、新聞2(2)%、学校38%              紹介19(50)%、通りがかり15(7)%、その他11(20)%、              未記入3(7)%</li> <li>・展示内容              とても良い: 53(41)%、良い: 33(39)%、普通4(7)%、              あまり良くない: 0(0)%、良くない: 0(0)%、未記入: 9(13)%</li> <li>・再訪の意向              ぜひ来たい: 52(39)%、来るかも: 43(52)%、来ない: 1(2)%、              未記入: 3(7)%</li> </ul>
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からの苦情については特に見られなかった。</li> <li>・アンケート自由意見欄では、「移民の歴史に触れることができ、もっと知ってみたいと関心が持てた」「スタッフの説明が非常に分かりやすく興味を持って見学できた」という意見が多数見られた。他には、「PRをしてもっと多くの人に来てほしい」「外国人とのイベントを増やしてほしい」などの意見があった。</li> </ul>

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ●AA ○A ○B ○C
所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で臨時閉館等を余儀なくされ、提案内容は未達であったが、中でも教育機関へのPR等の努力により3万人を超える来館があった。</li> <li>・小中学校からの来館もあり、我が国の海外移住に関する歴史について児童生徒の知見を広める場として活用されている。</li> <li>・移住者の関係者や神戸出身の来場者が、移住の歴史や地域のアイデンティティを認識する場としても機能している。</li> <li>・3つの団体の連携事業について、大学生など若い世代も巻き込みながら新しい取り組みを展開されることを期待する。</li> </ul>